

広報 なかわだ

第401号

6月の予定

初聖体、子どもミサ	2日(日)
教会委員会	9日(日)
信徒の会 例会	16日(日)
子どもミサ	23日(日)
Sr. 片岡玉江 講演会	29日(土)



2013年6月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2013年6月2日

St. Norbertus (1080 - 1134)

聖ノルベルト (祝日：6月6日)

主任司祭 小林 陽一

生涯のある時期に、思いもかけない動機から回心したり、受洗の恵みを頂く人は多いそうです。

ノルベルトは紀元後1080年、ドイツのゲンネブの裕福な家庭に生まれ、司祭を志して勉強と霊的修行の道に励んでおりましたが、副助祭になってから、世俗の世界へと関心が向けられました。聖職をあきらめ、ドイツ国王ハインリッヒ五世の侍者として、宮廷生活十余年を過ごすこととなりました。25歳になった春、ノルベルトは馬に乗って仲間と一緒に野原を駆けめぐり、辺りの景色に見とれて馬の歩みをゆるめておりました。その時、空が一瞬にしてかき曇り、雷光がきらめき、天地が崩れ落ちるかと思うくらいの雷が轟きわたりました。そして「ノルベルトよ、なぜ私を迫害しようとするのか。私はお前を特に選んで善を行わせようとしたのに、かえってお前は自ら悪を行っただけでなく、人々にも善を行わせないようにするのか」と不思議な声が聞こえました。ノルベルトは、これを聞いて気が遠くなり、馬上からぼったりと落ちました。他の従者の介抱でノルベルトは気を取り戻し、一心に「主よ、私に何を命じ給うのですか」と祈ったところ、「悪を捨てて善に従え」との声を聞いたそうです。

ノルベルトは宮廷を去り、ジークブルク修道院に引きこもり、粗衣をまとい、飲食を節制し、苦行や信心の業に励むなど、償いに努めました。

次の年、ケルンの大司教から司祭に叙階され、説教師として布教活動に従事しました。ところが、ノルベルトの過去を知る人は彼を悪しざまに言い、顔につばきをするなど、頭からノルベルトを相手にしませんでした。ノルベルトは「これも償いである」と思い、じっと耐えしのび、善徳の心で人々に接するうちに、疑っていた人たちも、いつしか彼の説教に耳を傾け、悪を捨てて善に立ち戻るようになりました。

ラン市の司教が、教皇の推薦もあって、ノルベルトを自分の教区に招き、新しい修道会の創立をすすめました。ノルベルトはこの勧めに従い、ある夜のこと森の中の小聖堂で祈っていると、白衣の修道士が手に手にローソクを携えていく幻影を見ました。彼は、これらの修道士こそ自分の精神を受け継ぐべき者だと悟り、司教の許可を受けて1120年にプレモンテ修道会を設立しました。会員はノルベルトの見た白衣を着て、特に聖体の秘跡に関係のある事柄、つまりミサ、聖体顕示、行列などの祭式に対する尊敬と信心を広めることによって、世の罪を償うことを主な使命としました。

その後ノルベルトは、マゲデブルグ教区の大司教となり、この教区の風紀の改善に取り組み、粗衣粗食を修道院の頃と同じく実行し、善徳の模範に努め、掟をないがしろにする者を戒め、正しい信仰の教えに反する説を述べる者を排斥しました。ところが、教区民の多くは猛烈にノルベルトに反対し、改革事業を妨害したうえ、ノルベルトを亡き者にしようと暴漢をそそのかすところまでいきました。しかし、ノルベルトは決してひるみませんでした。悪に応えるために、反対する教区民に対し、祈りと善業を示しました。そのうちに、反対者もノルベルトの善業を見、粗衣粗食の生活態度を変えないノルベルト大司教に兜を脱ぎ、自ら風俗を改め、掟を守るようになり、ノルベルトを尊敬するに至りました。ノルベルトはドイツ国王ロータール二世の信任も厚く、1134年、帰天して生涯を神に捧げました。

典礼こよみ (六月)

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	土		主日ミサ(18時)	掃除
2	日	キリストの聖体(祭日)	初聖体、子どもミサ(9時)	
7	金	イエスの御心(祭日)	祭日ミサ(10時)	掃除
8	土		主日ミサ(18時)	
9	日	年間第10主日	主日ミサ(9時)	
15	土			掃除
16	日	年間第11主日	主日ミサ(9時)	
22	土			掃除
23	日	年間第12主日	子どもミサ(9時)	聖堂清掃(C,D地区)
24	月	洗礼者聖ヨハネ誕生	祭日ミサ(10時)	
29	土	聖ペトロ・聖パウロ	祭日ミサ(10時)	Sr. 片岡玉江 講演会(14時)
30	日	年間第13主日	主日ミサ(9時)	

講演会『ルルドとベルナデッタ』 《講師のご紹介》

6月29日(土)に行われる講演会『ルルドとベルナデッタ』でお話くださる講師のシスター片岡玉江先生について、予めご紹介させていただきます。みなさま楽しみにご参加ください。

シスターは、現在ヌヴェール愛徳修道会・目黒修道院の院長で、同修道会の日本管区長もお務めになられたことがあります。

京都の仏教信仰に篤いご家庭に生まれ、文学少女として育ち、大学卒業後は西宮市にある仁川学院で5年間国語教師として教鞭をとられ、その後一旦ご家庭に入って家業や花嫁修業をしておられました。修道院に入られるきっかけとなったのが、京都の伏見にあるヌヴェール愛徳修道会が経営する聖母学院への3ヶ月契約での産休補助教員としての勤務でした。神様の導きで、そのまま修道女として修道院に入られることになったのです。そして同校での校長職、修道会管区長などを経て現在に至っておられます。

シスターの所属されるヌヴェール愛徳修道会は、皆様ご存知のベルナデッタと深いゆかりの修道会です。ベルナデッタは1844年にルルドで生まれ、18回にわたる聖母マリアのご出現を受け、1866年に入った修道院がヌヴェールにある愛徳修道会だったのです。

ベルナデッタはこの修道院で1879年に35歳で帰天。そのご遺体は、1903年に列聖調査のため発掘された際に、何の損傷もなく美しい姿で発見されました。1933年に列聖され、ご遺体はヌヴェールの修道院の聖堂に安置されており、毎年、世界中から多くの巡礼者が取り次ぎを願うために訪れています。(森脇 美武)



ヌヴェール愛徳修道会修道院

幼児洗礼式、おめでとうございます！(5月26日 マデリン マナリリ麻矢さん)



第5地区教会学校運動会に行ってきました！(5月19日 於 白百合学園小学校)

管唱詩編をがんばった。
6年なおき

楽しかった。 3年かなこ



優勝できて、うれしかった。
友だちもできた。 6年なおみ

優勝できてうれしかった。
3年えみ



走って疲れて眠くなった。
2年りくほ

疲れたけど楽しかった。
2年りき

2位で、うれしかった。
1年はるき



カンボジア・ポルポト政権の圧政を逃れタイ難民キャンプを経て1989年、日本に難民として定住され24年のタウタン・タニーさんにお話しを伺いました。

▲ポルポト政権から逃れた頃のことを教えてください。

1975年頃からポルポト政権の圧政が始まった。主人はその前の政府に勤めていたため、どこかに連れ去られ帰ってきた時は病気になっていてすぐに亡くなった。父親もその頃連れ去られ帰らぬ人となった。そして母親や親せきの人がどんどん連れ去られていくのに自分はその難を逃れ、二人の子供を連れてタイに避難するため暗い森の中を三日間歩いてカンボジアとの国境近くにあるタイ難民キャンプに辿りつくことができた。

▲タイ難民キャンプでの経験を教えてください。

最初の一年間は難民キャンプのIDカード（身分証明書）がすぐに発行されなかったのが大変だった。タイ兵士にIDカードを持っていないことが見つかるカンボジアに送還されてしまうので兵士が見回りに来るたび、近くの防空壕に隠れて生活していた。ある時兵士が見回りに来て逃げる間もなく検問される列に並ばされてしまった。側にいた息子だけでも逃がそうと知人のところに行くように促した。あと残り5人で検問されるという時、息子の話を聞いた知人が家族のIDカードを持って来て兵士に見せて自分の姉だと言ってくれた。写真の顔は明らかに違っていたが、その時自分が着ていたシャツとズボンの色と髪型までIDカードの写真の人とほぼ同じだったことが幸いしてか不思議と少しも疑われずに助かった。その後間もなくIDカードは発行され約4年間キャンプで暮らした。食べ物は配られたが十分ではなかったし、夜は安心してぐっすり眠れたことはなかった。

▲キリスト教に出会ったのはいつですか？

キャンプにいる時、カンボジア人の信者に教えてもらい日曜日にはミサに行くようになった。カンボジアは仏教国だったのでキリスト教のことは全く知らなかったが、その頃からお祈りをして神様のことを信じるようになった。今から思えば、カンボジアで家族や親せきが殆ど連れ去られ助からなかったのに自分は子供を連れて逃げるのができ、IDカードを持っていなかったのに強制送還されずに済んだことも神様に守られていたからだと思う。今まで夢に3回もイエス・キリストが現れてくださった。一度目はIDカードの検査の少し前に白い衣を着た光輝くキリストが頭上に大きく現れたのを見て本当に不思議だった。他の時も同じように夢に現れてくださったキリストの姿は今も心に強く焼き付いていて、いつも一緒についてくださると感じている。

▲聖書で好きな言葉や日頃大切にしていることはどんなことですか？

「神を信じる人は皆兄弟。互いに愛し合いなさい。」

以前は意見が違うとすぐに言い争いになったが、今は我慢して他の人の意見を静かに聞けるようになった。



信徒の会：例会（5月19日）のご報告

5月19日（日）に信徒の会会合の一環としてパソコン教室の第二回目を開催致しました。今回は、お持ちになられたパソコンやこちらで用意したパソコンを実際に操作して頂き、EXCELLとWORDの重要な機能をマスターして頂くことを目指しました。いくつか例題を用意し、最適な手順で実行してもらおう中でほとんどの重要な機能にふれて頂き、EXCELとWORDのプロになってお帰り頂けるつもりでしたが、残念ながら時間不足でやりたいことの1/4ぐらいしかできませんでした。

御参加頂いた方々は皆さん大変熱心にチャレンジして下さいました。はじめてパソコンを触られた神父様もキーボードやマウスを一生懸命に操作していらっしゃいました。

プロになるにはあと少し残った課題を実行する必要がありますが、今後は皆様のご要望をお聞きして、例えば土曜日に3時間ぐらい時間を取ることなども検討したいと思います。今回参加していらっしゃるなくても大丈夫なように工夫しておりますので、その節は是非御参加下さい。またこれに限らず、信徒の会として親睦を深め互いによく知り合うことができるイベントを種々企画していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

御参加下さった皆様、準備段階から御協力下さった小野様、大事なパソコンをお貸し下さった皆様に心より御礼申し上げます。
(岩淵 英介)



教会からのお知らせ

訃報

タルチシオ 中谷正明さん

5月5日に帰天されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



洗礼

マデリン マナリリ麻矢さん(三ヶ月)

5月26日に幼児洗礼を受けられました。おめでとございませう。

※関連記事2ページをご覧ください
(総務グループ)



バザー担当からのお知らせ

■本年度第1回目のバザー打合せを開催しますので、ご参集の程宜しくお願ひ申し上げます。

・日時.. 7月7日(日) ミサ後
・場所.. 集会室

■ご奉仕活動へのご協力の願ひ
(手作り品制作)

第1、第3火曜日の午前10時〜午後3時に、集会室で行なっております。皆さまのご参加、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

■中古衣料、並びに不用品(新品に限る)の提供願ひ

例年のお願ひですが、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。



(小野和江)

委員会だより

(文中敬称略)

△5月12日(日) 12名出席▽

■神父様の話

・5月26日(日) 主日ミサ後 幼児洗礼(マナリリ麻矢さん)がある。聖体授与の臨時の奉仕者研修会

・6月9日(日) 7月14日(日) 受講希望者、推薦参加対象者があれば6月1日(土) までに申し込む

■スケジュール確認

・6月2日(日) 初聖体(子供と共に捧げるミサ)

■月修資料(上野)

・「ビジュアル聖書ソフト」が発売された ↓教会で購入して中高生、要理、勉強会での利用が考えられるので購入を検討する。

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

・6月2日(日) 初聖体 聖体顕示式は横浜教区の指示により任意で実施とのことなので初聖体を手早く組み合わせて実施する。

・6月30日(日) 典礼ミーティング 典礼奉仕に関心のある方に声をかけ典礼奉仕者の人手不足を補なっていく。

・侍者の勉強会を要理にお願ひする。

●財務(甲斐)

・4月度決算報告
・教区負担金は(本部負担金等)年4回、月定献金に対して一定の割合で納めることが義務づけられている。

・四旬節献金: 愛の献金会計から4万円、特別献金から約2万6千円

●宣教(井上、石井(洋))

・5月19日(日) の運動会(湘南白百合小学校校庭)
参加者: 子供12名・大人6名
10時よりミサ 体育館にて
司式: タム神父様

・5月2日(水) リーダーでサマーキャンプの下見をした。
富士の聖母像(戦時中疎開した人々によって建てられてもの)
一粒会: 祈りのリレー。中和田教会は6月が当番。

・7月後半で中高生会と要理の合同キャンプを中和田教会で実施したい。

●要理(森脇(彰))

・6月2日(日) 初聖体(子供のミサ) ミサ後のパーティは新集会室で信徒の会のサロン形式でお願いしたい。
↓結論: 飾りつけ、セッティング、お菓子等の準備は要理、サロンは有志が受け持ち、共同体が一体となったパーティにする。

●福祉(中島)

・社会福祉協議会への寄付について検討した結果について討議した。
↓ 結論: 現在寄付している団体についても福祉がもう一度精査した結果を見て検討する。

●総務(岩淵)

・新教皇様の写真(電子ファイル)が配布されたので印刷して1枚につき100円(クリアファイル付き)で販売したい ↓結論: 50部準備して実費以外は献金する。
・ガーデンパーティを要理と中高生の合宿に合わせるため、日には中高生会、信徒の会で決める

●広報(今井)

・原稿依頼

●行事(小野(和))

・バザーのお知らせとお願ひ (ミニバザー実施するか今後決める)

■討議・報告事項

●講習会参加費補助(上野)

横浜教区共同宣教司牧サポートチームが企画・募集する研修会に参加する方は参加費用を申請してください。事前であればより好ましい。

●災害対策(上野、甲斐)

・食糧(50人分3日間)、電源、生活用水等の具体的な数、予算を検討
↓結論: 区役所の災害対策課に講習を依頼し、共同体の防災意識を高めると共に、臨時信徒総会を開き災害対策を各々の問題として捉えられるよう理解を促し実施していく。

●その他(甲斐)

・宗教法人の口座がマネーロンダリングに利用されることが問題になっており、今後は銀行の窓口で身分証明書の提示が必要になってくるため、現金の出し入れは財務に一本化される可能性がある。
以上

次回委員会 6月9日(日)

